

ペリー来航から 170 年！ 浦賀を歩こう

2023.1.16（月） 山本 好久 記

1月16日（月）雨が降りそうな天候の中、京急浦賀駅に集合し、合計20名の参加者で浦賀を反時計回りに歩きました。主な探訪地は、大衆帰本塚、郷土歴史資料館、西叶神社、東叶神社、東耀稲荷、乗誓寺です。

江戸時代中期より下田から浦賀に移設された海の関所である浦賀奉行所の概要と廻船問屋・干鰯問屋で栄えた浦賀の様子および幕末の浦賀で活躍した、浦賀奉行所の与力 中島三郎助の業績を郷土歴史資料館で観覧しました。



次に訪れた西叶神社には安房国の彫刻士・後藤利兵衛の彫刻で飾られ、伊豆の長八と並んで漆喰細工の名人三浦の善吉の鍔絵で飾られていました。西叶神社と東叶神社はポンポン船の愛称で親しまれている渡船で結ばれています。3分ほどの船旅を楽しんだ後、東叶神社をお参りし、東耀稲荷へ向かいました。

東耀稲荷では町内会長さんのご厚意で開扉していただき、通常は見ることのできない立派な格天井の彫り物を鑑賞しました。東耀稲荷は社務所もない小さな稲荷神社ですが、飾り瓦や鍔絵も施され、干鰯商人で栄えた東浦賀の繁栄を垣間見ることができました。

最後に訪れた乗誓寺は曾我兄弟の兄・十郎祐成と大磯の虎御前との間にできたといわれる了源から続く曾我一族が代々のご住職を務め、現在まで続いているとのこと。次回のさがみ探訪「梅かおる曾我兄弟ゆかりの里を訪ねて」につながる訪問の後、帰路につきました。

（参加者総数 20 名）

